

静岡文化芸術大(浜松市中区)デザイン学部2年生8人で有志グループ「ぼうか」展」として活動している。8月上旬の同大のオープンキャンパスに合わせて浜松の染め物文化をテーマに、食物で染めた布でうちわを製作するワークショップを開催した。名古屋市出身。19歳。

—開催した経緯は。

「グループでの活動のコンセプトが『こどものためのプラスなデザイン』。地域の子供たちに浜松の染め物に親しみを持ってもらうとともに、デザインする楽しさを感じてほしかった」

子供対象の体験型講座を開いた学生有志代表

みうら かんた さん (中区野口町)
三浦 寛大 さん



この人

—工夫したところは。

「楽しくて、さらに勉強になって喜んでもらえることを意識した。染色の実演をしたり、完成したうちわでゲームをしたりと、夏休みの自由研究にも役立てられるようにした。作って終わりにしたくなかった」

—ワークショップを終えた感想は。

「うちの下地に貼る布の配置や生地の特徴の生かし方など、子供たちのセンスや発想に驚かされた。右利き用のはさみしか用意していないなど、問題点もあって勉強になった」

—今後の目標は。

「デザインを始めたきっかけは人を笑顔にすること。見た目の美しさや機能性だけでなく、誰かを幸せにできる作品を生み出していきたい」

◇

コーヒーを飲むのが好きで、カフェでアルバイトもしている。